

令和7年度 学校評価報告

草加市立草加中学校
(令和8年2月5日作成)

1 学校教育目標 「目標を持ち、努力する生徒」	
2 重点目標・努力目標 「指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育む」 (1)「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導 (2)「いまをたくましく生きる」ための生徒指導・教育相談 (3)幼保小中を一貫した教育の推進 (4)地域とともにある学校づくりの推進 (5)「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実 (6)多面的・多角的な見方を育む道德教育の推進 (7)インクルーシブ教育の視点を持つ特別支援教育の推進 (8)「いまをたくましく生きる」ための進路指導・キャリア教育の推進	3 前年度の成果と課題 成果 ○担当校務分掌については計画的に進め、処理することができた。 ○教職員が教育目標を理解し、教育活動を進め、学年・指導に生かすことができた。 ○他人の痛みを共有できる豊かな人権感覚を育む人権教育を推進することができた。 課題 ●安全点検後の整備不足等、環境教育の充実。 ●幼保小中一貫教育に関する行事の計画的実施。 ●指導方法の工夫・改善に取り組んだ授業実践。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○教育目標が教職員に周知され、教育活動を進める上でいかされている。 ○担当校務分掌については計画的に進め、処理することができている。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○校内研修の主題や年間計画について多くの教職員が共通理解を図ることができた。 ○研修の成果を教育実践の場に生かすことができた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○生徒の健康や安全についての配慮を常に行うことができた。 ○保健・給食・安全指導に関する環境整備の必要性を教職員が共通理解することができた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○多様な情報推進メディアの学習環境の整備と積極的な活用に取り組めた。 ○全教職員で施設・設備の安全維持・管理に努めることができた。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○学校運営協議会を通して、学校の現状を伝えながら建設的な意見交換ができた。 ●保護者用学校評価において『学校だよりや学年だよりで学校の様子を分かりやすく伝えている』の項目で前年度よりAB評価で5.3ポイント減少した。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○夏季休業中には、小中合同の研修を行い、講師を呼んで学びを深めたり、県学調の分析をして系統的な学びについて話し合ったりすることができた。 ●あいさつ運動については、熱中症対策と小中の教職員の温度差があり、来年度は見直しが必要だと考えられる。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<p>○教職員が教育目標を理解し、教育活動を進め、学年・指導に生かすことができた。</p> <p>○「生徒自ら主体的に判断し、行動する力」を身につけさせる教育活動が展開できた。(職員自己評価A B評価で7ポイント増加した。)</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<p>○指導方法の工夫・改善に取り組んだ授業を行うことができた。(職員自己評価A B評価で14ポイント増加した。)</p> <p>●『学校の授業はわかりやすい』の項目で生徒のA B評価が89.6%であり、5.5ポイント減少した。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<p>○集団へ緒寄与の大切さを自覚し、生徒が主体的に活動できるような自発的・自治的な活動を推進することができた。</p> <p>○地域の実態を考慮した道徳の指導計画立案にやや課題が見られた。(職員自己評価A B評価で14ポイント増加した。)</p>
	④特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 生徒会活動 	A	<p>○生徒会本部や専門委員会組織を中心に活発な活動が計画・実践できた。</p> <p>○学校行事は、ねらいに合った内容(規模・準備期間など)にすることができた。(職員自己評価A B評価で14ポイント増加した。)</p>
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	A	<p>○ふるさと草加学習をどの学年も行事と絡めながら進めることができた。</p> <p>○地域の方と連携した地域防災学習が実施できた。</p>
	⑥生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、生徒理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○生徒の心身の発達や個に応じた生徒指導を行うことができた。</p> <p>○定期的にいじめ対策委員会を開催し、さまざまな角度からいじめに対する見解を検討することができた。</p>
	⑦キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 組織的なキャリア教育 指導方法の工夫と改善 啓発的経験の充実 進路情報の収集・活用 職場体験活動 	B	<p>○生徒の個性や能力に応じた意欲的な進路指導を行うことができた。</p> <p>●『進路について、適切な情報が豊富である。』の項目で保護者のA B評価が72.8%であり、4.9ポイント減少した。</p>
	⑧特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<p>○SC、SWや関係機関と連携し、個に応じた対応についての検討、ケース会議を行い、諸課題への解決を図った。</p> <p>○校内において、特別支援教育の支援体制が整備されていた。</p>
	⑨学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<p>○司書教諭、学校司書が中心となり積極的な図書館経営ができた。</p> <p>●学校図書館貸出数(1人あたり)が昨年度比較で1学期は-1.6冊、2学期は-2.0冊と減少した。</p>
	⑩情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<p>○情報通信ネットワーク等を活用した情報教育の推進を図ることができた。(職員自己評価A B評価で13ポイント増加した。)</p> <p>○多様な情報通信メディアの学習環境の整備と積極的な活用に努めることができた。</p>
	⑪人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	A	<p>○他人の痛みを共有できる豊かな人権感覚を育む人権教育の推進をすることができた。</p> <p>○人権教育推進の計画や研修はよくできた。</p>

草加市立草加中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
特色ある学校づくり	学力向上の取組について	・指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育む	A	○基礎基本の定着を目指し5つのコンテストを昨年度に引き続き、実施することができた。 ○草加市学調について1, 2年とも実施した全教科において全国の平均、達成率を超えた。
	幼保小中を一貫した教育の取組について	・児童生徒の交流の深化 ・園・学校・家庭・地域の連携体制の強化	A	○中学生が小学校を訪問し、歌声交流会やあいさつ運動を行った。中学生と語る会等の交流行事を行った。 ○震災に向けた小中合同の引き渡し訓練を行い、安全対策を行うことができた。
	読書活動推進に関する取組	・自ら読書に親しむ児童生徒の育成	B	○読書意欲を高める取組(しおりプレゼント、本を借りる冊数に応じたくじ引き、図書室に行かないと答えの出ないイベント等)を定期的に行った。 ●司書教諭、学校司書が中心となり積極的な図書館経営を行ったり、委員会を中心に本を読んでもらうための工夫を考えたりして実践したが、図書貸出数が減少した。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

【教職員】

・教職員学校評価『教育活動において地域の豊かな人材の活用や地域の人々との交流ができた。』(同+14ポイント)『情報通信ネットワーク等を活用した情報教育の推進を図ることができた。』(前年度AB評価比較+13ポイント)など、これらの取り組みにより、学校と地域、そして児童生徒を取り巻く環境との連携が一層深まり、教育活動の充実につながった。今後も地域社会と協働しながら、子どもたちの学びの質を高める教育活動を継続的に推進する必要がある。

・自己肯定感・自己有用感を育む授業づくりの推進についての研究発表は終了したが、全教職員で引き続き意識的に行うことができた。

・基礎学力の定着を目指し、年間を通して計画的にコンテストを実施した。定期テスト前には放課後の補習も実施し、個々の学力向上に努めた。

・『総合的な学習の時間・道徳・特別活動では学習展開を工夫して、充実した取組を行うことができた。』(同-10ポイント)については課題がある。

【保護者】

・保護者学校評価『目指す生徒像「あ(明るいあいさつ)、か(活発なかつどう)、つ(強いつながり)、き(今日をきり開く)」に育っている。』(同+3ポイント)については前年度よりも良い評価をいただいた。『あかつき』は学区内小学校との共通する目指す生徒像であり、連携した指導の積み重ねが児童生徒の姿に確実に結び付いているといえる。また、『清掃が行き届いた学校である。』(同+2.4ポイント)についても前年度よりも良い評価をいただいた。

・保護者学校評価『「学校だより」や「学年だより」で学校の様子をわかりやすく伝えている。』(同-5.3ポイント)、『進路について、適切な情報が豊富である。』(同-4.9ポイント)については課題がある。

【学校運営協議委員】

・学校評価が評価したことで終わることなく、分析して次へ繋げる確かなものとなっていることが重要だと思いますが、その点、草加中学校では、次へ繋げる手立てがしっかりとれていることが良い点だと考えます。

・「学校の授業がわかりやすい」の項目について、前年度に比べてパーセンテージが減少したと分析されていますが、全校的に成績がダウンしているという現状はないと思います。注目していく必要はありますが、生徒は学習活動に一生懸命に取り組んでおり、また、その他の活動にも意欲的だと思います。

・学校評価の保護者の回答率44パーセントをどう見るかですが、昨今保護者も多忙な日々を過ごされており、学校公開に関しても、世の中多様な働き方があり、就労時間も多様化しており、学校に足を運ぶことは日程調整の難しさもあるようです。学校に関心がないわけではないと思います。

・草加中学校は令和8年、開校80周年を迎えます。おめでとうございます。おめでとうございます。微力ながら協力させていただきます。

6 次年度の改善策

・生徒指導、教育相談に関する教職員間の連携と共通理解の徹底。

・保護者会・授業参観・面談など学校と家庭との連携の在り方。

・校務分掌の精選。 ・時間外の超過勤務の削減等の取組。

・学校図書整備・充実と生徒の読書活動の推進。

・配信メールの効果的な活用。 ・学習方法や学習全般に関する情報の提供。

